

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	「にのみやLife」の提案と発信
概要	人口の減少傾向を抑制するために、「二宮町に住み続けたい」、「二宮町に戻ってきたい」、「二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるようなライフスタイル「にのみやLife」として確立し、そのプロモーション戦略を推進することで、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出します。 「にのみやLife」を確立するためには、新たな魅力を創出する、または既存の魅力を活かしながら更に魅力を高めることに取り組み、「住んで良かった」と実感してもらえよう、様々な世代の生活スタイル・ライフステージに応じた定住支援施策や移住支援施策の展開を図ります。

基本計画(分野別方針)事業名		実施計画 事業数	総合評価
(1) 健康づくり支援の推進		1	A
(2) 母子保健の充実		3	C
(3) 教育・保育環境の充実		1	A
(4) 子育て中の親への支援の充実		4	B
(5) 子育てコミュニティづくりの推進		1	A
(6) 学童保育所の充実		1	A
(7) 空き家を活用した定住促進のための住まいの確保		3	C
(8) 広報・広聴の充実		3	A
課題 (箇条書き)	・シティプロモーション戦略、移住促進用パンフレットを作成し、「にのみやLOVERS～まちの魅力伝え隊～」を結成し、移住セミナー等に積極的に参加している。移住者の実績も出てきているが、町が提供する空き家情報には限りがあり、利活用には至っていない。		

総合評価	A:妥当性・有効性・効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D:施策全体を見直す必要がある		B
	説明	二宮の強みを活かした魅力あるくらしを提案し新しい人の流れをつくるための「にのみやLife」の提案と発信は予定通り進行しており、新たな移住者も増えている一方で、町が情報提供する空き家の利活用には結びついていない。同居・近居制度をはじめとした住宅に関する各種助成制度について、引き続き、周知を図り、利用の促進に努めるとともに、趣旨や目的、利用実態等の現状を見直し、利用者にとって、分かりやすく、使いやすい内容に改善することについて検討する。また、空き家施策のあり方について、方向性を示す必要がある。	
	方向性	産業振興課・観光協会との連携を図りながら「にのみやLOVERS～まちの魅力伝え隊」の自由な発想を活かしたプロモーションを展開するとともに、神奈川県住宅供給公社や神奈川県大学との連携やイベントなどを通じたお試し移住の可能性について検討を進める。 住宅に関する各種助成制度について統廃合を進めつつ、空き家については、適正管理や空き家にしないための方策を計画に位置付けるとともに、町民意識の向上を目的とした啓発を実施する。	

◎最終評価者[庁内評価委員会]		
	A:妥当性・有効性・効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D:施策全体を見直す必要がある	B
意見等	生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、「にのみやLife」の提案と発信は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、各種補助事業をはじめ、移住・定住のための諸施策を利用者の視点から見直すとともに、それぞれの施策を有機的に結びつけ、効果的、効率的に展開する。併せて、「にのみやLife」シティプロモーション戦略に基づき、適切な情報発信を続けるとともに、町民や関係団体等の参加と協力を得ることで、町のアイデンティティを高め、それを町の認知度やイメージ向上に繋げる好循環を創出する。	